

いのちの授業【保健体育科】学習指導案

授業者 MT：N ST：A

1. 本時の指導

(1) 題材「傷害の防止」・・・意識がない場合の手当て（救命救急処置：心肺蘇生法）

(2) 目標

- ① 意識がない傷病者の手当てについて、実習を通して知識と技能をある程度理解し、今後も身につけていく必要があることを認識する。（保健体育科）
- ② 適切な応急処置をすることによって、怪我や病気の悪化を防いだり、命を救ったりすることができることを理解するとともに、自他の命も大切にしていこうとする意識を持つ。（いのちの授業）

(3) 指導過程

	学習活動	主な発問（○）と指示（△）	指導上の留意点（・）と評価（☆）
導入	本時の場面設定について知り、課題について理解する。 意識がない人の手当てについて、学習しよう。	○もし、道端に人が倒れていたらあなたはどうしますか。	・本時の興味、関心を高め、課題意識を持たせる。
展開	手当てについての実習を行う。 ○教師の模範演技 ○グループ毎に練習	△今から実習をします。 △手順をよく見てください。 ①意識の確認 ②気道確保 ③呼吸の確認 ④人工呼吸 ⑤循環サインの確認 ⑥人工呼吸・心臓マッサージ	・練習用人形（ダミー）を準備する。 ・模範演技はSTが行う。 ・教師の実技の様子をよく観察させる。 ・実習のグループは事前に決めておく。 ・救助者、流れの確認担当、評価担当等の役割を決めてお互いにアドバイスさせながら、協力して活動させるようにする。 ・MT、STでグループの様子を観察し、指導・助言を行う。 ☆実習に意欲的に取り組んでいるか。
まとめ（いのちの授業）	本時のまとめを行う。 自己評価をさせ、感想を書く。	○今後、意識のいない人に遭遇したらあなたはどのようにしますか。（今日実習したことを、すぐに実施できますか。） △感想を書きましょう。	・地域での講習会等に積極的に参加して、体験を重ねていくことが望ましいことを伝える。 ・継続的に講習等を受けることの重要性を理解させる。 ☆救命救急処置についての知識と技能を身につける必要性を理解できたか。 ☆自他の生命を大切にしていこうとする気持ちを持つことができたか。

(4) 評価

- ① 救命救急処置についての知識と技能を身につける必要性を理解できたか。
- ② 自他の生命を大切にしていこうとする気持ちを持つことができたか。